

令和8年度大豆生育定期調査結果 No.2（北上市 8月5日現在）

岩手県農業研究センター生産基盤研究部水田利用研究室（TEL：0197-68-4412、FAX：0197-71-1081）

1 生育概況（表1、図1）

（1）生育

7月第2半旬から第4半旬にかけて高温で経過したため生育の遅れが回復し、地上部の生育は旺盛となった。しかし、地下部は、7月第3半旬及び第5半旬以降の多雨により生育が抑制され、地下部乾物重が平年を下回った。

開花期は、7月第6半旬以降の低温の影響により平年よりやや遅くなった。

表1 生育調査結果（8月5日現在）

品種	年次	開花期 (月/日)	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	地上部 乾物重 (g/m ²)	地下部 乾物重 (g/m ²)
リュウホウ (6/2播種)	R8年	7/30	103.3	66.6	14.7	283.3	29.3
	平年	7/26	93.1	53.0	14.4	276.3	38.6
	平年差・比	4	111%	13.6	0.3	103%	76%
	前年	7/23	81.6	51.5	15.0	297.5	42.6
シュウリュウ (6/2播種)	R8年	7/30	103.9	68.6	15.7	303.6	29.0
	平年	7/27	91.8	51.0	14.7	321.9	38.9
	平年差・比	3	113%	17.6	1.0	94%	75%
	前年	7/23	79.9	46.8	15.0	380.3	44.1
(参考) リュウホウ (6/15播種)	R8年	8/1	83.1	50.5	12.1	180.7	24.1
	平年	8/3	68.0	40.9	12.1	140.9	29.4
	平年差・比	-2	122%	9.6	0.0	128%	82%
	前年	8/1	61.0	37.8	12.5	154.6	34.1

※1：「平年」は令和3～7年の平均値。

※2：リュウホウ（6月15日播種）の平年は令和6年と7年の平均。

2 気象経過（7月第1半旬～8月第1半旬；図2）

気温は、7月第2半旬から第4半旬に高温傾向となった。日照時間は、第2半旬以外は平年より短く経過した。

降水量は、7月第3半旬及び第5半旬以降は平年よりも多くなった。

なお、今年度の東北北部の梅雨入りは6月21日頃（平年よりも6日遅い）、梅雨明けは8月4日頃（平年よりも7日遅い）となった（気象庁速報値）。

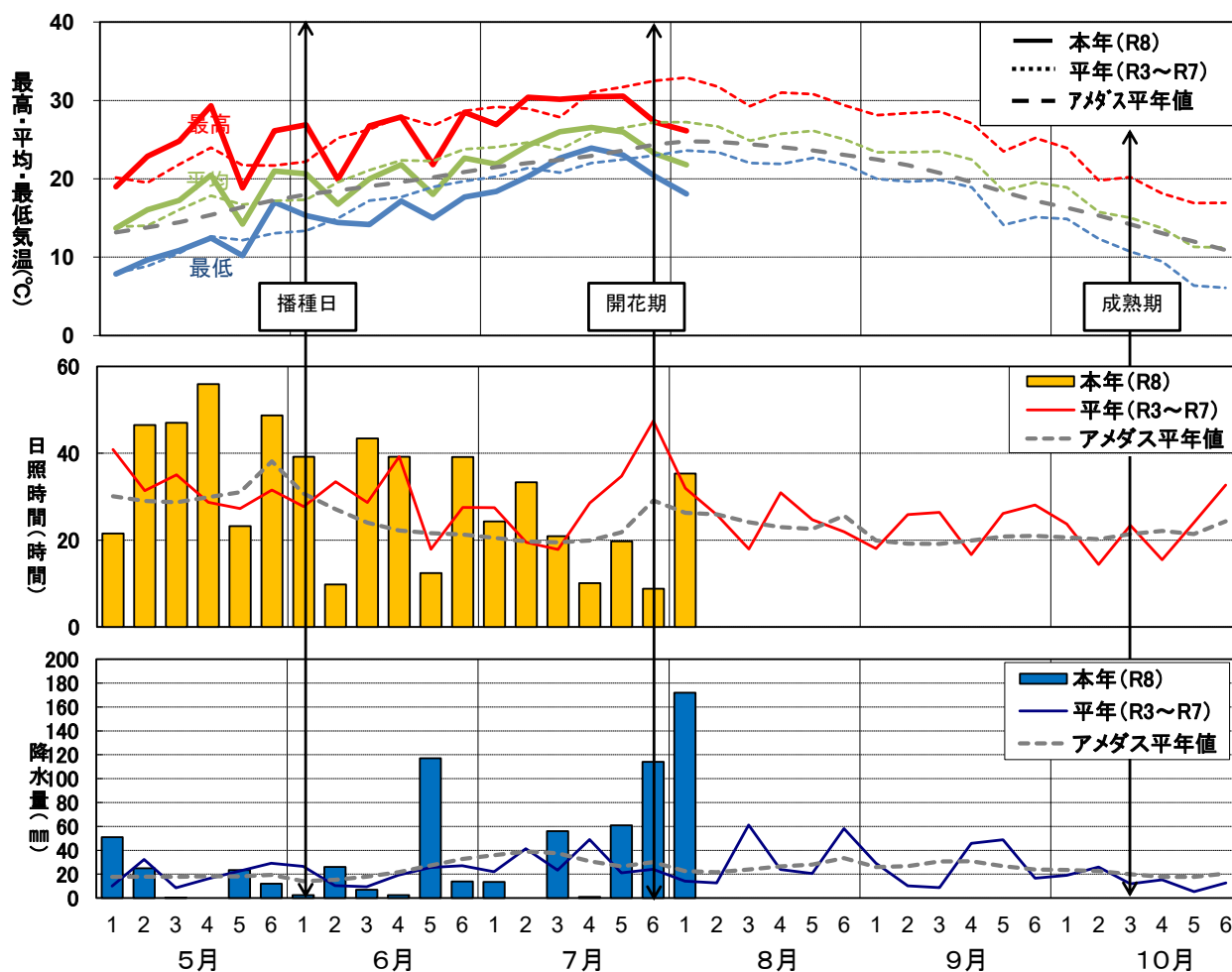


図2 気象経過図（アメダス北上、8月5日現在）

※1：「平年」は令和3～7年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所：農業研究センターほ場（北上市成田、標高90m、淡色多湿黒ボク土（水田転換1年目））
- (2) 播種日： 6月2日（リュウホウ及びシュウリュウ）、6月15日（リュウホウのみ）
- (3) 栽植密度 6月2日播種：9.5株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月15日播種：14.3株/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛ふん堆肥1t/10a
- (5) 土壌処理剤：ラクサー乳剤 800mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 病虫害防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前塗沫処理）